

## 第15回「企業白書」 関連委員会等名簿

2003年3月26日現在

代表幹事 / 第15回『企業白書』責任監修

小林陽太郎 (富士ゼロックス 取締役会長)

副代表幹事 (「市場の進化と企業競争力の強化」担当) / 2001年度企業経営委員長

北城恪太郎 (日本アイ・ピー・エム 取締役会長)

「市場の進化と21世紀の企業」研究会

### 【座長】

齋藤 敏一 (ディックルネサンス 取締役社長)

### 【委員】

井上 輝一 (トヨタ自動車 常勤監査役)

榎元 宏明 (松下電器産業 取締役東京支社長)

奥村 晃三 (大日本インキ化学工業 取締役社長)

桐淵 利博 (ヤフー 監査役)

楠美 憲章 (日産不動産 相談役)

小山 眞一 (富士ゼロックス 常務執行役員)

清水修一郎 (三國機械工業 取締役社長)

杉江 和男 (大日本インキ化学工業 常務取締役)

立木 正夫 (サントリー 常務取締役)

成毛 眞 (インスパイア 取締役社長)

濱口 敏行 (ヒゲタ醤油 取締役社長)

福井 俊彦 (日本銀行 総裁)

前田 靖治 (前田建設工業 取締役社長)

松本 洋 (アルファパーチェス 取締役社長)

村上 雅彦 (ロンパー・オディエ・ダリエ・ヘンチ・ジャパン 取締役社長)

山下 光二 (全日空ワールド 常勤顧問)

渡辺正太郎 (経済同友会 副代表幹事・専務理事)

土屋 詔二 (アイティ・イニシアティブ 取締役副社長)

山田 重生 ([元]花王 取締役)

北矢 行男 (多摩大学 経営情報学部 教授)

### 【ワーキング・グループ / 事務局】

足達英一郎 (日本総合研究所 創発戦略センター 上席主任研究員)

安澤 嘉丞 (ディックルネサンス 経営企画部部長代理)

佐伯 貴志 (富士ゼロックス 調査部マネジメントサポートグループ)

岐部 一誠 (前田建設工業 総合企画部経営企画グループ部長)

中嶋 淳 (インスパイア 事業開発部長)

中村 薫 (ロンパー・オディエ・ダリエ・ヘンチ・ジャパン  
エグゼクティブ・ディレクター)

古瀬 裕昭 (富士ゼロックス 調査部マネジメントサポートグループ長)

安生 徹 (経済同友会 常務理事)

齋藤 弘憲 (経済同友会 政策調査第一部マネジャー)

檜山 聡 (経済同友会 政策調査第三部マネジャー)

井原 郁子 (経済同友会 政策調査第二部)

経済研究所「市場の進化プロジェクト」

[ 経営者 ]

- 渡辺 正太郎 ( 経済同友会 副代表幹事・専務理事・経済研究所長 )  
水口 弘一 ( 中小企業金融公庫 総裁 / [ 2003年1月まで ] 経済同友会 経済研究所長 )  
岩沙 弘道 ( 三井不動産 取締役社長 )  
北城 恪太郎 ( 日本アイ・ピー・エム 取締役会長 )  
高橋 秀明 ( 富士ゼロックス 取締役副社長 )  
成毛 眞 ( インスパイア 取締役社長 )  
服部 純一 ( セイコーインスツルメンツ 取締役会長 )  
埜 義一 ( 日産自動車 会長 )  
福井 俊彦 ( 日本銀行 総裁 )  
前田 操治 ( 前田建設工業 取締役常務執行役員 )  
南 直哉 ( 東京電力 顧問 )  
茂木 友三郎 ( キッコーマン 取締役社長 )  
森 昭彦 ( ミレアホールディングス 取締役副社長 )

[ 学者 ]

- 青木 昌彦 ( スタンフォード大学 経済学部 教授 )  
池尾 和人 ( 慶應義塾大学 経済学部 教授 )  
猪木 武徳 ( 国際日本文化研究センター 教授 )  
岡崎 哲二 ( 東京大学 大学院経済学研究科・経済学部 教授 )  
柳川 範之 ( 東京大学 大学院経済学研究科・経済学部 助教授 )  
吉田 和男 ( 京都大学 大学院経済学研究科・経済学部 教授 )

[ 事務局 ]

- 太田 篤 ( 経済同友会 政策調査第二部長 )  
岡野 貞彦 ( 経済同友会 企画部長 )  
齋藤 弘憲 ( 経済同友会 政策調査第一部マネジャー )  
吉野 由佳 ( 経済同友会 政策調査第一部 )

## あとがき

### 「市場の進化と21世紀の企業」研究会を担当して

2000年12月に経済同友会から発表された『21世紀宣言』は、自ら起こした企業を経営しつつ「企業のあるべき姿」を模索していた私に一筋の光明を与えてくれた。なぜならば、市場そのものを「経済性」のみならず「社会性」「人間性」を含めて評価する市場へと進化させるよう、企業として努力する必要がある という『21世紀宣言』のメッセージが、私がこれまで経営を実践しながら考えていたことを整理する上で大きな力となったからである。

私は、このテーマをさらに深く研究し、経済同友会の会員として行動する方向性を模索する研究会を立ち上げようと思い立ち、「創発の会」のメンバー有志に呼びかけ、「会員自主プロジェクト」として「社会貢献型企業研究会」の立ち上げを企画・申請した。幸いにもその設立が認められ、十数人のメンバーの参加を得て研究会はスタートし、2001年7月11日を第1回として、月1回のペースで議論を重ねてきた。

2002年に入ったある日、研究会に参加されていた経済同友会の安生徹常務理事より相談を持ちかけられ、この研究会は2003年3月を目処にまとめる第15回企業白書作成の一部を担うこととなり、政策委員会の一つとして位置付けられることとなった。研究会の名称も新たに「『市場の進化と21世紀の企業』研究会」と改められ、第15回企業白書を自らとりまとめることとなった小林陽太郎代表幹事をはじめ、新たに数人の委員にご参加いただくことになり、ワーキンググループのメンバーも増員され、2002年3月13日を第1回として2003年2月21日までに11回の会合を重ねた。

研究会では、毎回小林代表幹事のリーダーシップの下、渡辺正太郎副代表幹事・専務理事、福井俊彦副代表幹事をはじめとする委員とワーキンググループのメンバーが一体となった雰囲気の中で、真剣な討議が繰り広げられた。また、2002年6月21日～22日には御殿場で、8月9日～10日には軽井沢で委員有志やワーキンググループ有志による合宿討議も行い、早朝から深夜まで侃侃諤諤の議論を交わしながら、我々に与えられたテーマをより深く掘り下げていった。

その過程では、「市場の進化」の解を導き出す一つの手がかりとして、欧州におけるここ数年の「企業の社会的責任（CSR）」をめぐる新たな動きに注目し、2002年9月29日～10月13日の約2週間の日程で、英国、ベルギー、ドイツ、スイスの4カ国において20カ所以上を精力的に訪問する欧州調査も実施した。また、今回の白書の理論編を担当している経済研究所「市場の進化プロジェクト」とは2002年11月6日、2003年1月10日の2回にわたり合同研究会を共催し、連携を深めた。さらに、夏

季・秋季軽井沢セミナー、正副代表幹事会、幹事会、諮問委員会、創発の会など、数え切れないほどの様々な場において研究会の取り組みやその検討状況を説明し、その都度貴重なご意見をいただきながら、この白書はようやく完成に辿りついた。

この全行程を振り返ってみても、私たち研究会メンバーは、「企業の社会的責任（CSR）」と「市場の進化」という壮大なテーマについて、今ようやくその序論を書き終えたに過ぎないというのが実感である。

昨今の世界および日本の社会情勢を見ても、これらのテーマについて経営者が自ら思索を深め、実践していくことは喫緊の課題であり、問題意識を持った経営者の集まりである経済同友会は、今後ともこの分野で積極的な役割を果たすべきであると考えている。今回の作業に参加した研究会メンバー一同も、引き続き何らかのかたちでこれらのテーマの研究を継続し、さらに具体的に実践に踏み出していくことを確認し、結びの言葉としたい。

最後に、研究会でご講演いただいた講師の方々、欧州調査でお世話になったの方々、研究会にご参加いただいた委員およびワーキンググループのメンバーの方々をはじめ、ご協力いただいたすべての皆様に、本研究会を代表して心から感謝の意を表したい。

特に、2001年7月以来、全研究会に出席し、貴重なアドバイスをいただいた多摩大学教授の北矢行男先生、研究会改組後の第1回目の講師としてご講演いただいた後、私たちのたつての願いでワーキンググループのリーダー役をお引き受けいただいた日本総合研究所創発戦略センター上席主任研究員の足達英一郎さん、私たちの討議・研究の結果に基づいて、白書の草案作成・修正作業を超人的エネルギーで担っていただいた経済同友会政策調査第一部マネジャーの齋藤弘憲さんに心から感謝するとともに、その労をねぎらいたい。

2003年3月

社団法人 経済同友会

「市場の進化と21世紀の企業」研究会

座長 齋藤 敏一



第15回企業白書

**「市場の進化」と社会的責任経営**

企業の信頼構築と持続的な価値創造に向けて

---

2003年3月 第1刷発行

---

発行者 社団法人 経済同友会

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル8階

TEL : 03-3284-0220 FAX : 03-3212-3774

(2003年5月1日より下記に移転)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-6 日本工業倶楽部別館5階

---

© 社団法人経済同友会 KEIZAI DOYUKAI 2003 Printed in Japan